

湯津上地区市政懇談会

日 時：平成29年7月26日（水）午前9時30分
会 場：市役所湯津上支所 103会議室



懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見
市道旧東野鉄道線の歩道整備と一灯点滅式信号機の撤去について

《ご回答》

要望区間は延長が長く、市単独費での整備はきびしいため、国の交付金事業で整備を進める路線と考えます。現在、交付金事業の導入が条件的に難しいことから早急な事業化は困難な状況です。

一灯点滅式信号機を修繕する部品が製造されていないこと等の理由により、3年以内に撤去するとのことであり、今後、一灯点滅式信号機がある交差点につきましては、高輝度の一時停止標識・標示の規制への変更が予定されております。信号機が撤去される際には、地区住民の皆様に対する周知広報等を実施する予定です。

懇談テーマⅡ 高齢者対策・医療・福祉に関するご意見

バス利用減に伴い、高齢者の足となるデマンド交通の運行範囲の拡大についてお聞きしたい。

《ご回答》

平成29年3月に策定いたしました「大田原市地域公共交通網形成計画」のなかで、「湯津上地域の黒羽・佐良土線」につきましては、「小さな交通」の導入検討路線として位置付けています。「小さな交通」とは、具体的には要望にもありますデマンド交通形式を考えていますが、さらに湯津上地区の状況に対応した交通システムを提案していきたいと考えております。

懇談会でいただいたご意見

○小中一貫教育を選択した理由を伺いたい。

《ご回答》 小中一貫が目的ではなく、その考えを活かした9年間のカリキュラムを作ることが大切であり、中1ギャップなど不登校が生じるケースを回避できれば、物理的に一緒にすることがなくても目的は達成できると判断しました。

○合併以降の合併特例債の総事業費及び湯津上地区で実施された特例債事業名と事業費について

《ご回答》 合併特例債の発行可能額は合計256億程度で、今年度末で発行額見込みが234億円、平成30年度以降の発行可能額は21億となります。
湯津上地区では、保育園の整備と市道整備を重点的に行いました。

○特定外来種のチラシは、次の広報で配布になるのか。

《ご回答》 国、県から情報収集の通知があり、自治会長のみなさまへの周知となりました。回覧等の必要があれば、回覧部数を用意いたします

○学童の送迎バスの運転について

《ご回答》 安全面に配慮した運転業務に努めるよう指導してまいります。

○笠石神社のトイレについて

《ご回答》 不法行為と思われる行為により使用できない状態となっており、市は警察に届け出し、法に従い対応しております。

○粗大ごみの不法投棄について

《ご回答》 現場確認のうえ、対処方法を検討いたします。

○ほほえみセンターの設置について

《ご回答》 市は新規のほほえみセンターの建設は行わない方針ですが、自治公民館、空き家などを活用し、ほほえみセンターの機能を持った施設として運営してもらいたいと考えております。